



きらめく  
**まちビト**  
×  
梅木 智康

旧名寄市の母村であり、姉妹都市として交流活動を推進してきた山形県鶴岡市(旧藤島町)との職員交流で、平成29年4月から名寄市役所農務課農政係で働いている梅木智康さん。半年を振り返り、名寄市での生活や鶴岡市と名寄市の交流についてインタビューしました。

**もち米日本一は誇るべきこと。鶴岡で名寄のことを広めていきたい。**

名寄市の第一印象と、半年間住んでみて感じたことがあれば教えてください

「今年3月の末に秋田港から苫小牧港まで車と一緒にフェリーで来て、そこから道の駅などに寄りながら合計18時間かけて名寄市まで来ました。まだ市街地に雪が残っていることに驚きながら、道が広く運転がとて快適でした。鶴岡の市街地は城下町のため、道が狭かったり、一方通行がとて多いです。名寄市に半年住んでみて、鶴岡よりも寒いなど感じています。夏は冷房いらさずで過ごせて快適でしたが、秋になると鶴岡の冬並みに寒く、10月からコタツを使っています。名寄市で生活をしていて不便な点がありますか  
「生活するうえで不便さは感じませんが、映画館で映画を観ることが好きなので、市内に映画館が無いことにショックを受けました。鶴岡市での仕事内容と、鶴岡市の特徴について教えてください  
「園芸と畜産の生産振興を担当し、国や県、市の補助事業を活用した農家の経営サポートが主な仕事でした。」

鶴岡市にはだだちゃ豆、庄内柿、雪中軟白ねぎなど素晴らしい特産品が多くあります。だだちゃ豆には、「だだちゃ豆ブッチューン」というオリジナルソングがあるので、ぜひYouTubeで視聴してみてください。

名寄市ではどのような仕事をしていますか  
「農作物の鳥獣被害防止や国の補助事業を活用した農家の経営サポートが主な仕事です。近年急激に増えているアライグマの捕獲も担当しています。農作物被害だけでなく、市街地へ侵入して屋根裏に住みつくななどの問題もありますので、地域をあげた捕獲に対するご理解ご協力をお願いします。名寄市が持つ魅力や可能性は何だと思いますか  
「もち米作付面積が全国1位であることは誇るべきことだと思います。道の駅で販売しているソフト大福はふっくらしてやわらかく、とてもおいしいです。市内の飲食店でもちを使った創作料理を出して、もち料理グランプリなどができればとても面白いと思います。また、雪質も素晴らしいと聞いているので、ウインターズ

ポーツを楽しむにしています。市民の皆さんへ一言お願いします

「古くから鶴岡市の藤島地区と名寄市の交流がありました。が、正直なところ合併後の鶴岡市民は名寄市と交流があることを知らない人がほとんどだと思います。交流があると言われてもなかなか実感がわかないと思いますので、ぜひ一度鶴岡市に足を運んでみてください。実際に人の行き来が増えることで、新しい繋がりが生まれるはずです。私も、まずは名寄のことを鶴岡市民に広め、相互の交流発展に努めていきます。」

**Profile**

**梅木 智康 (うめき ともやす)**

平成2年山形県鶴岡市生まれ。鶴岡南高校、埼玉大学理学部、埼玉大学大学院理工学研究科卒業。趣味はゲーム、温泉巡り、映画鑑賞。平成26年鶴岡市役所入庁、農政課に配属。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。